つづみがうらしょうがっこう
鼓ヶ浦小学校だより

鼓ヶ浦キッズ

学校教育目標:「知・徳・体 調和のとれたこどもの育成」

～学校が楽しい、明日も来たいと思える学校～

令和8(2026)年11月13日(金)No.19

海岸清掃をしました

11月4日(水)の5時間目に全校で海岸清掃に行きました。

1・6年生はペアで、そのほかの学年は、学年ごとに行いました。

流木や漂着したブイなどの大きなごみもたくさんありました。魚やウミガメが飲みこんでしまうと命にかかわるようなプラスチックのものもたくさん見られました。一人ひとりが意識をもってごみ拾いをしていました。



今年は上陸しませんでしたが、みんながきれいにしてくれた鼓ヶ浦海岸に来年は、ウミガメがきてくれるとうれしいですね。

砂の造形活動をしました



11月5日(木)の3・4時間目に1年生と6年生が海岸へ行き、グループごとに砂の造形活動をしました。

グループごとに考えたテーマを協力して作りました。イルカやリンゴ、人気アニメのキャラクターなど、スコップやシャベルを使って形作っていきました。

前日に海岸清掃をしたので、きれいになった砂浜で気持ちよく活動することができました。

どのグループも声をかけ合ってしっかりと作品を作り上げていました。

海の近くにある学校ならでは、の取り組みです。身近にある海に感謝ですね。

3年生　出前授業がありました



１１月１０日（火）の3.4時間目に3年生の出前授業がありました。今回は、「S（生涯）S（スポーツ）ピンポン」の体験を通して障がい者への理解を深める内容でした。

障がい者スポーツ大会の競技である「サウンドテーブルテニス（STT）」をされている黒田智子さんを講師に招いて学びました。視覚に障がいのある黒田さん自身のお話を聞かせていただいたり、東京パラリンピックの聖火ランナーとして参加した時のトーチを見せていただいたりしました。

そのあとは、SSピンポンを実際にしてみました。みんなとても楽しそうにしていました。

競技を続けている黒田さんの姿を通して、どんなことがあっても前向きに取り組んでいくことが大切であると感じていたようです。

プロレーシングドライバーがきました！



１１月１１日（水）に国内最高峰のモータースポーツであるスーパーフォーミュラに参戦している野村勇斗選手が来校し、5･6年生に授業をしてくれました。

これは、スーパーフォーミュラを主催する（株）日本レースプロモーションが、鈴鹿市と連携し、進めている「地域連携パートナーシップ」の一環になります。

最高時速300kmで走るマシンのドライバーの野村選手から、ドライバーになろうと思ったきっかけやドライバーの仕事などについて話をしてもらいました。20才（この学校だよりが読まれる時は、２１才）の野村選手ですが、レース歴は15年になるそうです。F1を観て、そこをめざそうと努力してきた野村選手からは、あきらめないこと、自分に自信を持つこと、また、周りにいる人たちも頼りにして相談することが大切であると話していただきました。「努力して後悔することはない」とも話してくださいました。こどもたちも頷きながら真剣に話を聴いていました。

最後に野村選手のサインをもらい、みんなで記念写真を撮りました。

そして、１１月20日（金）～22日（日）に鈴鹿サーキットで開催されるスーパーフォーミュラ最終戦の20日の練習走行を見せていただくだけでなく、２１日の予選と22日の予選・決勝をスタンドで観戦できるチケットをプレゼントしていただけることになりました。お時間の都合がつきましたら、ぜひ、ご家族そろって時速300kmで走るレースを観戦してはいかがでしょうか。